

## 中学校給食センター整備事業について

町田市では、成長期の中学生全員にできる限り早期に温かい給食を提供するため、給食センター方式による全員給食実施に向けた取組を進めています。中学校給食センターの整備について、事業の進捗状況を報告いたします。

### 1 PFI 事業（町田忠生小山エリア・南エリア）

#### （1）PFI 事業者の決定

2022年8月1日から公募型プロポーザルにて事業者選定手続を行い、町田市中学校給食センター整備運営事業候補者選考委員会（以下「選考委員会」）による選考を経て、「シダックス大新東ヒューマンサービスグループ」をPFI事業者として決定しました。同グループによる事業提案の概要は、2ページのとおりです。

#### （2）PFI 事業契約の締結

上記、PFI事業者により、2月13日付けで本PFI事業の事業主体となる特別目的会社「町田中学校給食サービス株式会社」が設立され、町田市議会での議決を経て、同社との間で、3月29日付けで、PFI法に基づくPFI事業契約を締結し、事業に着手しました。

### 2 リース事業（鶴川エリア）

2022年11月15日から再公募した事業者選定手続について、PFI事業と同様に選考委員会による選考を経て、「大和リースグループ」をリース事業者に決定しました。

2023年3月29日にリース契約を締結し、事業に着手しました。

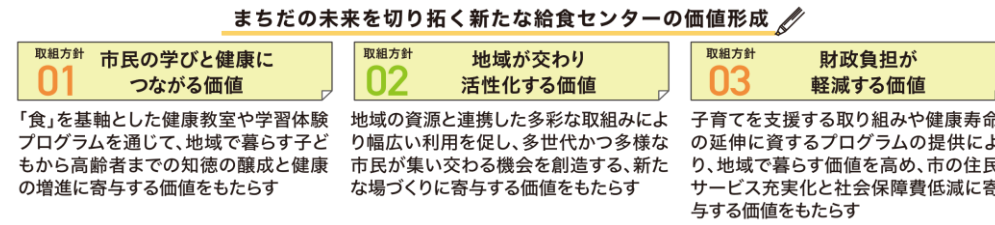
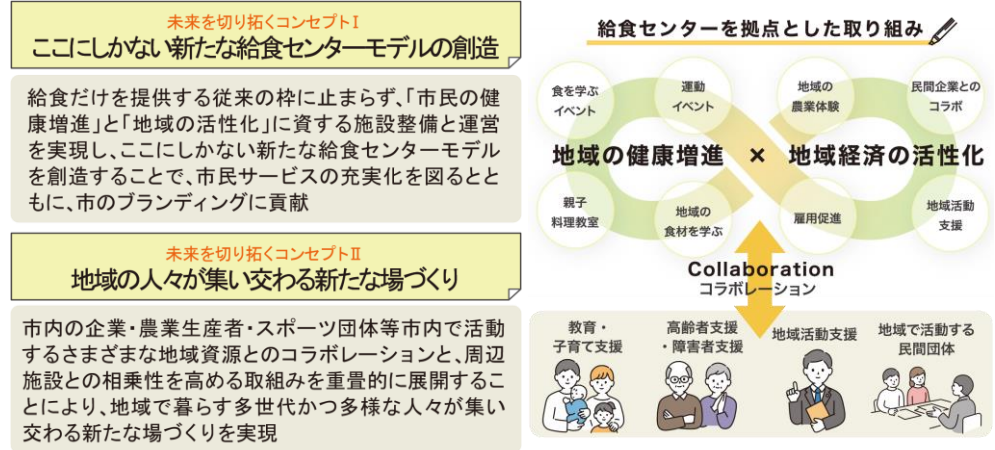
同グループによる事業提案の概要は、3ページのとおりです。

### 3 事業スケジュールについて（予定）

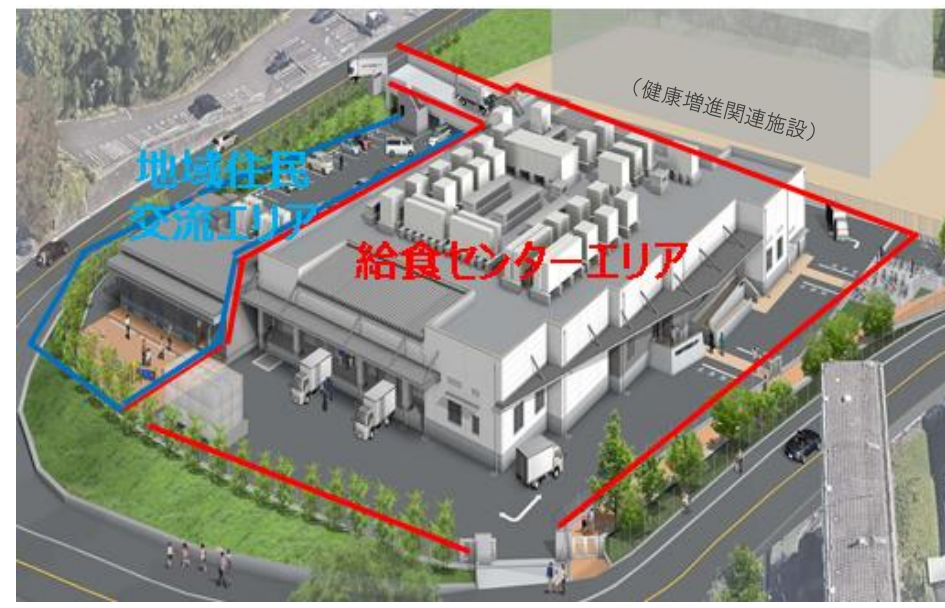
2023年 3月	事業契約の締結
2023年12月	【町田忠生小山エリア】整備工事開始
2024年 1月	【南】・【鶴川エリア】整備工事開始
2024年度2学期	【堺エリア】全員給食開始
2024年度3学期	【鶴川エリア】全員給食開始
2025年度1学期	【町田忠生小山エリア】全員給食開始
2025年度2学期	【南エリア】全員給食開始

■事業コンセプト

「子どもの未来のために」「住まう人の未来のために」「まちの未来のために」の3つの取組姿勢のもと、「ここにしかない新たな給食センターモデルの創造」「地域の人々が集い交わる新たな場づくり」をコンセプトに、本事業をつうじて、市民の学びと健康、地域活性化、市の財政負担の軽減に取り組む。

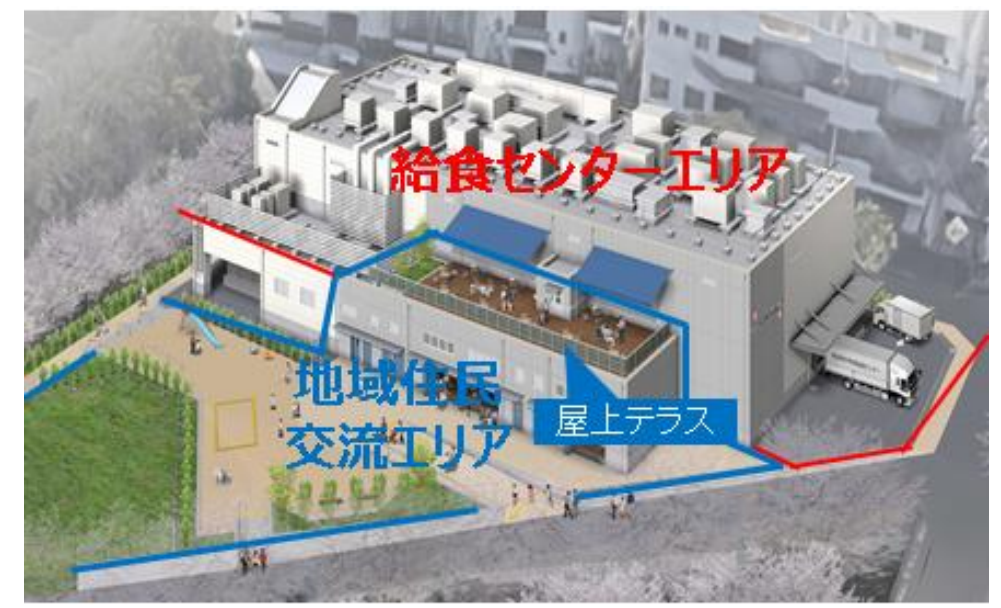


■町田忠生小山エリア



○市内飲食事業者と協働したカフェ運営やコワーキングスペースの貸出事業、各種イベントの実施などを行う「市民交流施設」や屋外の「子育て広場」を併設した、地域の拠点とする。

■南エリア



○ 恩田川に面して、公園、カフェ、屋上テラスを配置し、河川沿いの豊かで魅力的な空間を形成し、市民の憩いと交流の拠点とする。

・環境負荷低減の取組として、ZEB READY※の達成を目指す。 ※一次エネルギー消費量を基準値より50%以上削減した建物のこと  
・防災・災害対応として、熱源をLPガスに切り替えられる移動調理釜を備えるとともに、災害時には、運営企業の全国ネットワークを駆使した温もりある炊き出しを提供する。

<提案施設緒元>  
鉄骨造平屋建て/延床面積 2,760.76 m<sup>2</sup>/消防器具置場併設

<提案施設緒元>  
鉄骨造2階建て/延床面積 2,465.24 m<sup>2</sup>/雨水調整池・街区公園併設

■提案事業・自主事業



○市内の様々な企業や各種団体等と連携し、従来の給食センターの枠を超えた新たな価値を形成する取組の連続により、本施設が地域交流のハブ機能を担い、地域に愛され続ける施設を実現する。

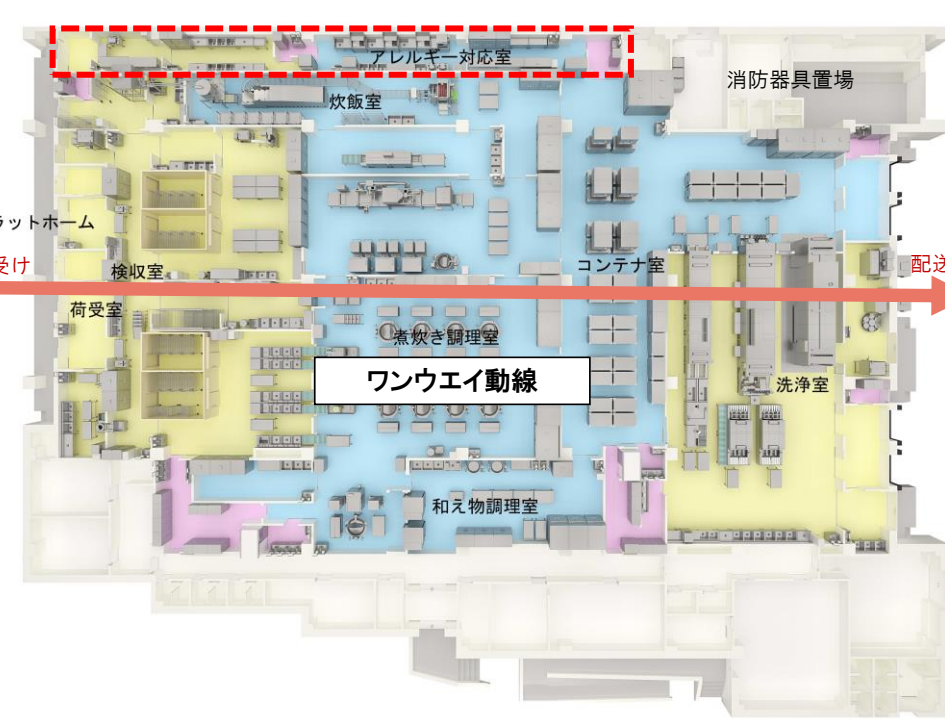
市内カフェ等飲食事業者との連携 地元をもっと豊かで誇れる街にする活動に全力を尽くしている市内でカフェ等飲食事業を展開する企業と連携し、給食センターの新たな価値を形成する場を創出	生産者と消費者が出会う場の創造 町田薬師池公園四季彩の杜西園で既に実施している「LOCAL ファーマーズマーケット」を実施し、地域の生産者と消費者が出会い、顔の見えるコミュニケーションの場を創出	市内スポーツチームとの連携 地元のプロサッカーチームやフットサルチーム等と連携協力し、「食×スポーツ」をテーマとしたイベントや教室等を実施することで地域の人々の新たな交流と健康増進の場を創出
---	--	--

○周辺施設や地域住民に向けた多様な食のサービスについて、市と協議して実施を図る。

<調理エリア>

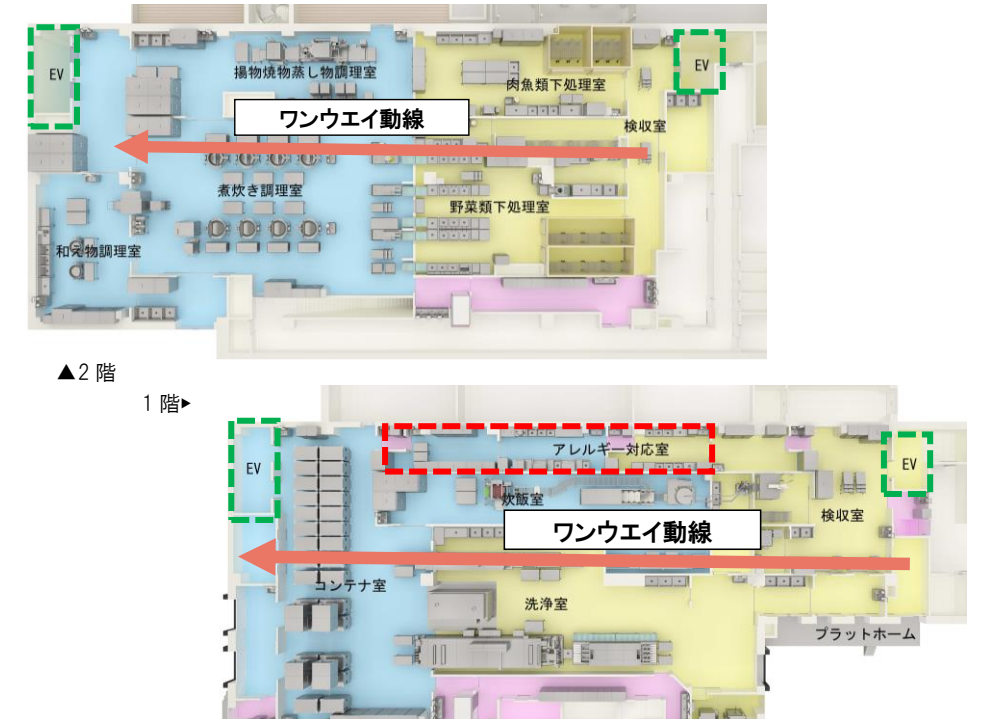
・今後生徒数が減少していく傾向を踏まえて、調理運営上の工夫により、極力無駄の省いた厨房設備計画とする。  
・手づくりの多い市の献立の特徴を踏まえ、安全で質よく提供できる調理方法を提案するとともに、食物アレルギー専用食を安全かつ確実に調理・配送するための施設・体制を確保する。

○平屋建てを活かして、食材の荷受けから調理・配送・洗浄まで、明快なワンウェイ動線を確保した施設とする。



<調理エリア>

○多層階型の給食センターとし、通常食とアレルギー食の調理フロアを分離するなど、安全・衛生的な給食調理ができる施設とする。



# (仮称)町田市中学校給食センター(鶴川エリア)リース事業 事業提案の概要

## ■事業コンセプト

「地域とつながり健康をつくる安全・安心の給食センター」「多世代がつながり、新たな可能性が未来にひろがる給食センター」をコンセプトに、事業期間全体を通して、「子ども、食育、健康、地域、環境」の視点から社会課題・地域課題の解決に貢献する。

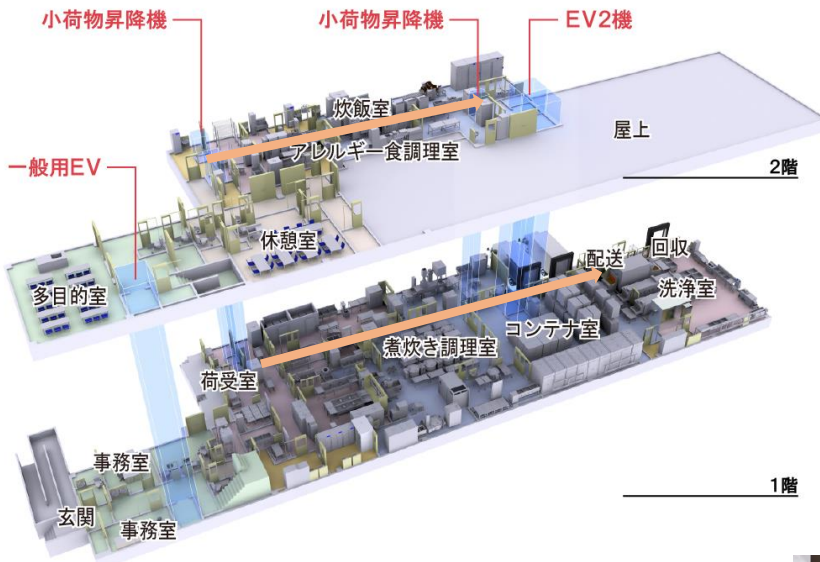


## ■施設イメージ



- 時限的な施設であることを踏まえ、手づくりの多い市の献立に対応しながら、極めてコンパクトで効率的な施設・設備の構成を実現。
- 環境負荷低減の取組として、ZEB READY※の達成を目指す。※一次エネルギー消費量を基準値より50%以上削減した建物のこと
- スポーツ広場利用者も利用しやすい多目的室やトイレを併設する。

## <調理エリア>



金井スポーツ広場  
<提案施設緒元>  
鉄骨造2階建て/延床面積1428.67㎡

- 多層階型の給食センターとしながら、明快なワンウェイ動線を構築。
- 食物アレルギー専用食を安全かつ確実に調理・配送するための動線設計とする。
- 住宅地に近接して設ける施設として、臭気や騒音、車両出入等について周辺住環境に十分に配慮した施設設計とする。
- 防災・災害対応として、災害時炊き出し用釜を配備する。

## ■提案事業・自主事業

- 市と連携・協力して、市内有名店等とのコラボ献立の開発、まちベジ市の誘致など農業振興に資する取組を検討する。
- 給食センターの余剰時間・余剰機能の有効活用を図り、地域へのサービス提供につながる取組を、運営事業者とともに検討する。
- 町トレの実施支援や、まちかど子どもギャラリーへ参加など、地域活動に積極的に関与する。

